

～お花で彩るハロウィン～

少しずつ暑さが和らぎ、秋がやってきました。10月の大きなイベントといえば…ハロウィンですね！

ハロウィンは、古代ヨーロッパに広く居住していたケルト民族のお祭りであるといわれていたそうです。もともとは古代ケルト人の1年の終わりの日である10月31日に、秋の収穫を祝うとともに、火を焚いたり仮面をつけて仮装しながら悪霊を追い払う行事として始まったそうです。現在では、日本でも可愛い仮装をしたり、お友達やご家族でお部屋をデコレーションしてパーティーをして楽しんだり、お誕生日や記念日、お祝いなどにハロウィン風のギフトを贈ったり…とメジャーになってきましたよね。

悪霊を驚かせて追い払うハロウィンでは、ホラー要素のある飾り付けが人気ですが、可愛らしさも欲しいものです。ハロウィンのメインカラー、カボチャの様なオレンジももちろん可愛いですが、シックな紫や赤をメインにしても素敵ですよ！秋らしい実ものや紅葉したリーフでアレンジするとより季節感を楽しむことができます。

今年はどんなお花で彩るハロウィンにしますか？



① バラやトウガラシの赤をメインにしたボリューム満点のアレンジメント。美しく大人なハロウィンにおすすめです。 ¥10,000 (税込 ¥11,000)



② パンダやモカラを使ったシックな紫がメインのアレンジメント。ハロウィンのちょっぴり怪しげな雰囲気を演出してくれます。 ¥5,000 (税込 ¥5,500)



③ ジニアやバラ、ピンククッションプロテアなどを盛り込んだ、ハロウィンカラーのオレンジがメインのアレンジメント。 ¥7,000 (税込 ¥7,700)



④ 可愛い多肉植物の寄せ植えはハロウィンの飾りにもおすすめ！個性的な姿が面白いです。 ¥4,400 (税込 ¥4,840)

夏の疲れをリフレッシュ！ 秋のグリーンケア

もとは熱帯地域のものが多い観葉植物たち。基本的には暑さには強いのですが、ジメジメと昼夜問わず暑さの続く名古屋の夏は観葉植物にとってもかなり過酷な環境です。調子を崩してしまうことも増えているので暑さのおちつくこの季節に剪定や施肥、必要に応じて植え替えなどのお手入れをしてリフレッシュさせましょう。

10月はまだまだ生育期、観葉植物がすくすく育ってくれる季節です。観葉植物の基本を押さえて、植物の夏の疲れをケアしながらグリーンライフを楽しんでみませんか。

観葉植物の育て方の基本は日当たり、水、温度の3つです。観葉植物は基本的に日当たりの良い場所を好みます。無灯火で新聞を読めるくらいの場所ならOKです。

水やりはメリハリをつけることが大切です。鉢全体の土が乾いたら、鉢底から水が出てくるまでたっぷりと与えます。気温の下がり始める時期からは水やりの間隔を徐々に広げていきます。土の渴きが悪いと根腐れの原因になるので注意が必要です。また、閉め切った室内だと土の渴きが悪くなります。水やり直後は窓を開けるなどして風通しを良くしておきましょう。サーキュレーターなどで部屋全体の空気を動かすことも大切です。

温暖な地域が原産の観葉植物は寒さが苦手です。10℃以下にならない場所に置くようにします。

観葉植物は育てやすい種類が多く、初めて植物を育てる方にも安心です。夏の暑さでバテ気味の観葉植物も基本をおさえてリフレッシュさせてあげましょう。



① アロカシア アマゾンカ ページュ丸陶器鉢 ¥4,840 (税込)



② パンダガジュマル 白陶器鉢 ¥7,260 (税込)



③ ディスキディアエメラルド 白丸陶器鉢 ¥2,310 (税込)



④ ザミオクルカス ザミフォーリア 黄丸陶器鉢 ¥4,840 (税込)